「不便」の価値を見つめ直す（4）

川上 浩司

次の表は、教科書本文の内容をまとめたものである。

序論	1～3	**導入（「不便」に対する一般的な価値観）** 「不便でよかった。」と感じたことはないだろうか。こう尋ねるとたいていの場合けげんな顔をされる。そこには「便利はよいこと」「不便は悪いこと」という価値観がある。
	4	**問題提起（便利さばかりを追求することへの疑問）** 一様に便利さばかりを追求し続けることで、私たちの生活や社会は本当に豊かになっていくだろうか。便利の追求以外の新たな発想が求められているのではないか。
本論	5・6	**「不便益」と「不便」の定義** 不便だからこそ得られるよさを「不便益」とよぶ。何かをするときにかかる労力が多いこと（手間がかかったり、頭を使って考えなければならなかったりすること）を「不便」とする。
	7	**「便利」と「不便」に対する新しい視点** 「便利」にも「不便」にもよい面と悪い面がある。
	8～11	**「不便益」の事例** ①移動方法 ②施設のデザイン ③工場での生産方式
	12・13	**事例からわかる「不便益」** ・発見や出会いの機会が増える。 ・体力や知力、技術力の維持や向上を促す。 ・人間の意欲を向上させる。
	14・15	社会全体が「便利」だけを追求していけば、本来得られていた楽しさや喜びが失われたり、自分の能力を発揮する機会が奪われたりすることになる。
結論	16	**まとめ** 「不便益」の発想のように、これまでの常識とは異なる別の視点をもつことで、世界をもっと多様に見ることができるようになる。

（1～16は教科書本文における形式段落番号を表します）

要約

目的に応じて文章の要点を短くまとめることを要約という。要約するためには、次の部分に注目するとよい。

・キーワード（題名や文中に繰り返し出てくる言葉など。）
・キーセンテンス（段落の中心となる文。段落の最初や最後にあることが多い。）
・結論（まとめや、筆者の主張が述べられる。）

確認テスト 教科書本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 次の中から「不便益」に当たるものを選びなさい。

ア 便利のよい面　**イ** 不便の悪い面
ウ 便利の悪い面　**エ** 不便のよい面

〔　〕

(2) 移動方法について、次の事例からわかる「不便」のよさとして適当なものを選びなさい。

タクシーではなく徒歩で移動したところ、時間がかかり疲(つか)れはしたが、人とふれあえたり景色を楽しんだりすることができた。

ア 発見や出会いの機会が増える。
イ 体力や知力、技術力の維持や向上を促す。
ウ 人間の意欲を向上させる。

〔　〕

(3) 施設のデザインについて、次の事例からわかる「不便」のよさとして適当なものを選びなさい。

ある介護(かいご)施設で、あえて段差や坂、階段を設けたところ、入居者の身体能力の低下を防ぐことにつながった。

ア 発見や出会いの機会が増える。
イ 体力や知力、技術力の維持や向上を促す。
ウ 人間の意欲を向上させる。

〔　〕

(4) 工場での生産方式について、次の①・②は「便利」と「不便」のどちらの事例か。「便利」なら**ア**、「不便」なら**イ**で、それぞれ答えなさい。

①ライン生産方式〔　〕
②セル生産方式〔　〕